

第24回市議会定例会

市長選後初の定例会で岩倉市長が「市政に臨む基本方針」を説明
一般、特別、企業会計総額で23億4,172万円の補正予算を可決

第24回市議会定例会は、新型コロナウイルス感染症の対策として、基本的な感染対策を継続し、市政に臨む基本方針及び、代表質問では演壇でのマスク着用を任意とし、議長席及び演壇にアクリル板を設置し、議会運営は通常通り行い、9月2日（金）から15日（木）まで開かれ、報告5件、陳情1件、議案24件、要望意見書3件、決議1件、その他の議事2件の審議が行われました。

「市政に臨む基本方針」で、時代の変化を捉えた持続可能な行財政運営、人流の活性化と物流機能の強化や子育て世代の応援と健全育成など25項目の公約を説明した市長に対し、6党派6人の議員により代表質問が行われ、行政改革、20年先を見据えたまちづくり、子育て世代への支援、温室効果ガス実質排出量ゼロ、平等社会、新型コロナ対策などについて議論が行われました。

また、各常任・特別委員会では、苫小牧市パートナーシップ制度、市立病院における新型コロナウイルス感染症への対応、苫小牧市観光振興ビジョン推進事業の進捗状況、令和4年8月の大雨対応、陸上自衛隊による戦車等の公道自走訓練、苫小牧市民文化ホール整備運営事業の進捗状況などについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

◆報告

一般会計の令和2年度及び令和3年度を継続年度とする住宅建設事業（日新団地市営住宅9号棟）その他2事業、水道事業会計の令和2年度及び令和3年度を継続年度とする高丘浄水場管理棟改築事業の終了に伴う継続費の精算、令和3年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について報告がありました。

また、和解した物損事故に係る損害賠償の額の決定の専決処分について報告がありました。

さらに、総務委員会に付託された陳情1件の審査結果が委員長報告どおり決定されました。

◆議案

（人事案件）

任期満了に伴う苫小牧市教育委員会委員の任命について、引き続き岡田秀樹氏を任命することに同意しました。

また、任期満了に伴う苫小牧市公平委員会委員の選任について、引き続き大谷和広氏を選任することに同意しました。

(令和3年度各会計決算の認定等)

一般会計など8会計の決算の認定等に関する議案については、一般会計決算審査特別委員会（谷川芳一委員長）と企業会計決算審査特別委員会（岩田薫委員長）に付託され、議会閉会中に審査されることになりました。

(令和4年度一般会計補正予算)

企業版ふるさと納税による指定寄附金を活用し、都市再生コンセプトプランに基づくイベント等を行う実行委員会への補助金として、都市再生コンテンツ創出事業費3,000万円の増額補正、道補助金を活用し、原油価格や物価高騰の影響が特に大きいと考えられる低所得の高齢者世帯及び障害者に対する高齢者世帯等生活支援事業費2億5,366万2千円の増額補正、国道補助金を活用し、感染防止対策用品等の購入や感染防止対策に要する経費を補助する保育施設等新型コロナウイルス感染症拡大防止支援事業費2,355万円の増額補正、環境保全と再生可能エネルギー導入促進の両立を図るためのゾーニングマップ作成に要する環境基本計画（ゼロカーボン推進計画）策定事業費1,376万1千円の増額補正、国の新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に伴う5回目接種委託料等に係る新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費3億7,867万6千円の増額補正、条例に基づき新增設等を行った企業13社に対する企業立地振興条例助成金2億2,150万4千円の増額補正、明德20条線外2路線の改良舗装工事を行う単独道路舗装事業費8,000万円の増額補正、老朽化に伴い変形、破損が生じている小泉の沢川の護岸について改良工事を行う河川改良費の単独事業費2,000万円の増額補正、錦大沼公園の遊具新設と親水空間の損傷している護岸施設の改修を行う公園整備費の単独事業費2,000万円の増額補正、株式会社苫東の剰余金配当を積み立てる減債基金積立金2,200万円の増額補正、生活保護費分などの、国・道支出金精算に伴う償還金等の不足分の過誤納還付金外4億9,300万円の増額補正について、そのほか、継続費の補正として、住宅建設事業（日新団地市営住宅8号棟）の継続費の変更、債務負担行為の追加として、人事給与システム事業費、企業立地振興条例に基づく助成金（令和4年度分）、放課後児童クラブ運営事業費について、原案どおり可決されました。

(令和4年度特別・企業会計補正予算)

国民健康保険事業特別会計では、令和3年度の決算剰余金を積み立てる国民健康保険事業基金積立金9,582万9千円の増額補正について、原案どおり可決されました。

介護保険事業特別会計では、令和3年度国庫支出金等の精算に係る償還金及び還付加算金1億3,931万1千円の増額補正、令和3年度の決算剰余金を積み立てる介護給付費準備基金積立金1億998万8千円の増額補正、債務負担行為の追加として、介護保険業務委託事業費の令和5年度から8年度分の民間委託経費を設定することについて、原案どおり可決されました。

水道事業会計では、糸井地区、桜木町及び清水町の配水管改良工事を行う改良工事に要する経費6,500万円の増額補正について、原案どおり可決されました。

下水道事業会計では、もえぎ町、春日町及び末広町の管渠築造に要する下水道築造工事に要する経費1億2,000万円の増額補正について、原案どおり可決されました。

市立病院会計では、道補助金を活用し、超音波画像診断装置や人工呼吸器等の医療機器を整備する医療機械器具整備事業費1,466万1千円の増額補正について、原案どおり可決されました。

公設地方卸売市場事業会計では、花き部民間移譲に伴う固定資産売却損1億1,301万5千円の増額補正などについて、原案どおり可決されました。

(条例の制定ほか)

公職選挙法施行令の改正に準じて、市議会議員及び市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等に係る公費負担の限度額を引き上げるため、関係規定を整備する苫小牧市議会議員及び苫小牧市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴い、定年を段階的に65歳に引き上げるとともに、管理監督職勤務上限年齢制を導入する等のため、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定、地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業の取得回数制限を緩和するとともに、非常勤職員に係る育児休業の柔軟な取得に資する措置を講じる等のため、関係規定を整備する苫小牧市職員の育児休業等に関する条例の一部改正、地方税法等の改正に伴い、個人の市民税に係る住宅借入金等特別税額控除を延長する等のため、関係規定を整備する苫小牧市税条例等の一部改正、長期優良住宅の普及の促進に関する法律の改正に鑑み、長期優良住宅維持保全計画の認定に係る手数料を定める等のため、関係規定を整備する苫小牧市手数料条例の一部改正、建築基準法の改正に伴い、条例で引用している同法の条項に移動があったため、関係規定を整備する苫小牧市建築基準法施行条例の一部改正について、原案どおり可決されました。

(動産の取得)

買入れによる、学校用机・椅子3,011万4,480円の動産の取得について、原案どおり可決されました。

◆陳情

《今議会に提出された案件》(カッコ内は付託された委員会)

採択

- 憲法改正の発議に際し、国民が検討するための十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書提出に関する陳情(総務委員会)

◆意見書

「憲法改正の発議に際し、国民が検討するための十分な時間を確保するよう国に求める要望意見書」、「女性デジタル人材育成を推進するための支援を求める要望意見書」、「教育予算確保、拡充と就学保障の充実に向けた要望意見書」が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。

◆決議

「総合開発特別委員会設置に関する決議の一部を変更する決議」が原案どおり可決されました。